

2014年3月期

## 決算説明会資料



2014年5月12日

株式会社ドリームインキュベータ

注：当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会などの情勢および当社が合理的と判断した経営計画に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化などの事由により、予告なしに変更される可能性があります。また、業績予想などの数値は、その正確性を保証するものではありません。投資に際しての最終的なご判断は、お客様ご自身がなされますよう、お願いいたします。



決算概況

各事業の状況

(参考)会社概要



## 決算概況

各事業の状況

(参考)会社概要

## 2014年3月期 決算概況

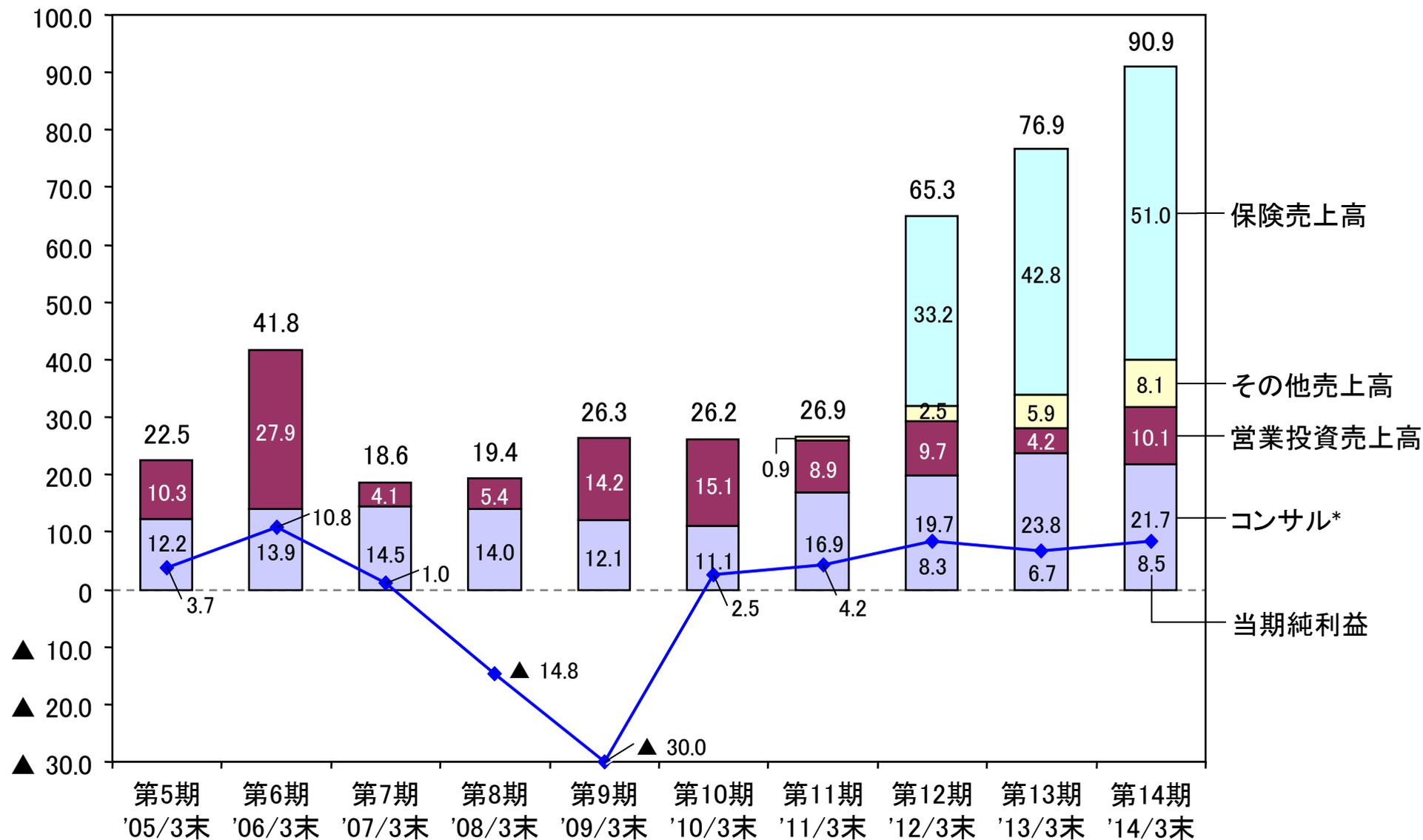
- 増収増益(前年同期比: 売上高+18.2%、純利益+27.2%)
- 営業投資はIPO 4社(過去最多)
- 含み益が増加(5,876百万円\*。売れば「営業利益」)
- 1株当たり純資産は前期末比で52.4%増
- 中長期成長基盤構築を強化
  - 既存事業投資への更なる投資
  - 新規事業投資・営業投資の仕込み

\* 上場済投資先分(2014年3月末時点)



# 連結業績推移

売上高/当期純利益  
(億円)



#246187 \* FA、教育を含む

## 2014年3月期 連結P/L

	2013年3月期 (百万円)	2014年3月期 (百万円)	対前年同期比 増減率 (%)
コンサルティング事業	2,379	2,172	▲8.7
保険事業	4,284	5,100	19.0
営業投資事業	426	1,010	137.1
その他事業	602	809	34.1
<b>売上高合計</b>	<b>7,693</b>	<b>9,092</b>	<b>18.2</b>
コンサルティング事業	779	490	▲37.1
保険事業	460	451	▲2.0
営業投資事業	89	835	838.2
その他事業	▲116	▲143	-
<b>セグメント損益合計</b>	<b>1,212</b>	<b>1,633</b>	<b>34.7</b>
本社費	443	491	10.8
<b>営業利益</b>	<b>768</b>	<b>1,141</b>	<b>48.5</b>
営業外損益	▲9	▲39	-
<b>経常利益</b>	<b>759</b>	<b>1,101</b>	<b>45.1</b>
特別損益・税金・少数株主利益等	▲87	▲247	-
<b>当期純利益</b>	<b>671</b>	<b>854</b>	<b>27.2</b>

注: 金額の表示単位未満は切り捨て

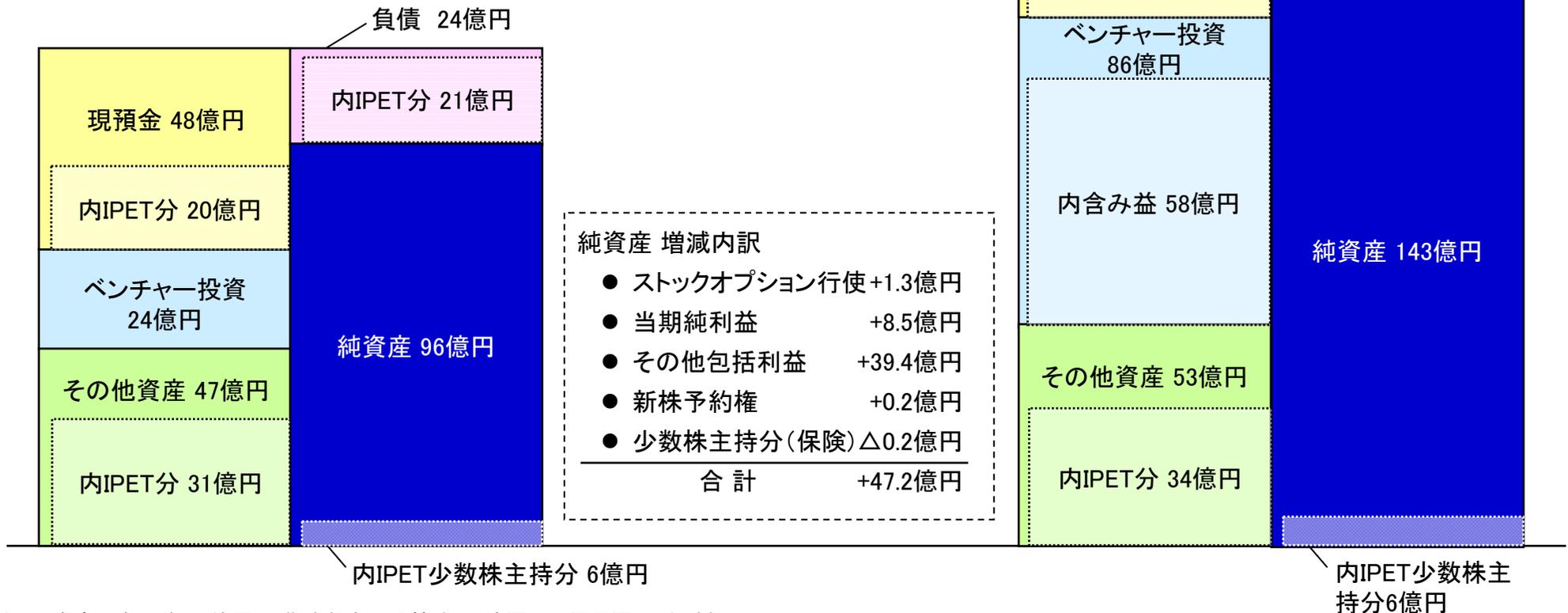
## 2014年3月期 連結B/S

2013年3月末

(総資産：120億円)

2014年3月末

(総資産：195億円)



注：資産の含み益(58億円)は期末保有上場株式の(時価-取得原価)の合計額。  
含み益が顕在化した場合の税負担分(21億円)が負債に計上され、利益分(37億円)が純資産に計上されている。

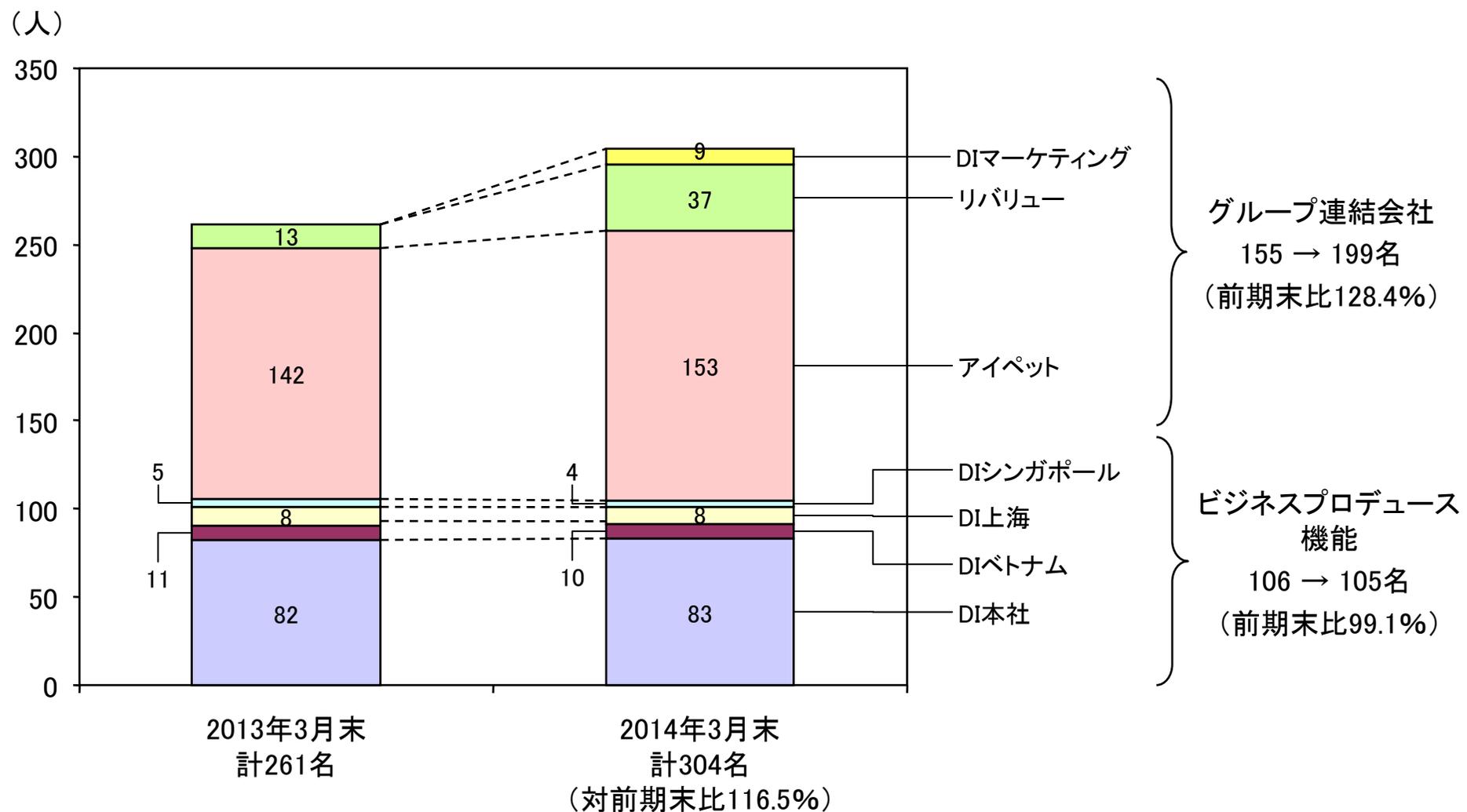
## 2014年3月期 連結CF

科目	金額	内訳
コンサル収入	20.0 億円	
営業投資収入	10.1 億円	
保険料収入	50.1 億円	
その他収入	7.2 億円	
収入合計	87.5 億円	
固定費等	67.1 億円	
営業投資有価証券取得	4.1 億円	
支出合計	71.3 億円	
営業C/F	16.2 億円	
定期預金	▲ 6.0 億円	定期預金の預入による支出
113条繰延資産繰入	▲ 5.3 億円	
関係会社株式取得	▲ 1.0 億円	
その他支出	▲ 2.1 億円	貸付による支出0.9億円等
投資C/F	▲ 14.6 億円	
配当金の支払	▲ 2.0 億円	
その他収入	0.5 億円	
財務C/F	▲ 1.4 億円	
外貨換算差額	0.3 億円	
C/F合計	0.5 億円	
実質現預金増加額	6.6 億円	定期預金(3ヶ月超)を含む実質CF

注: 金額の表示単位未満は切り捨て



# 連結人員数



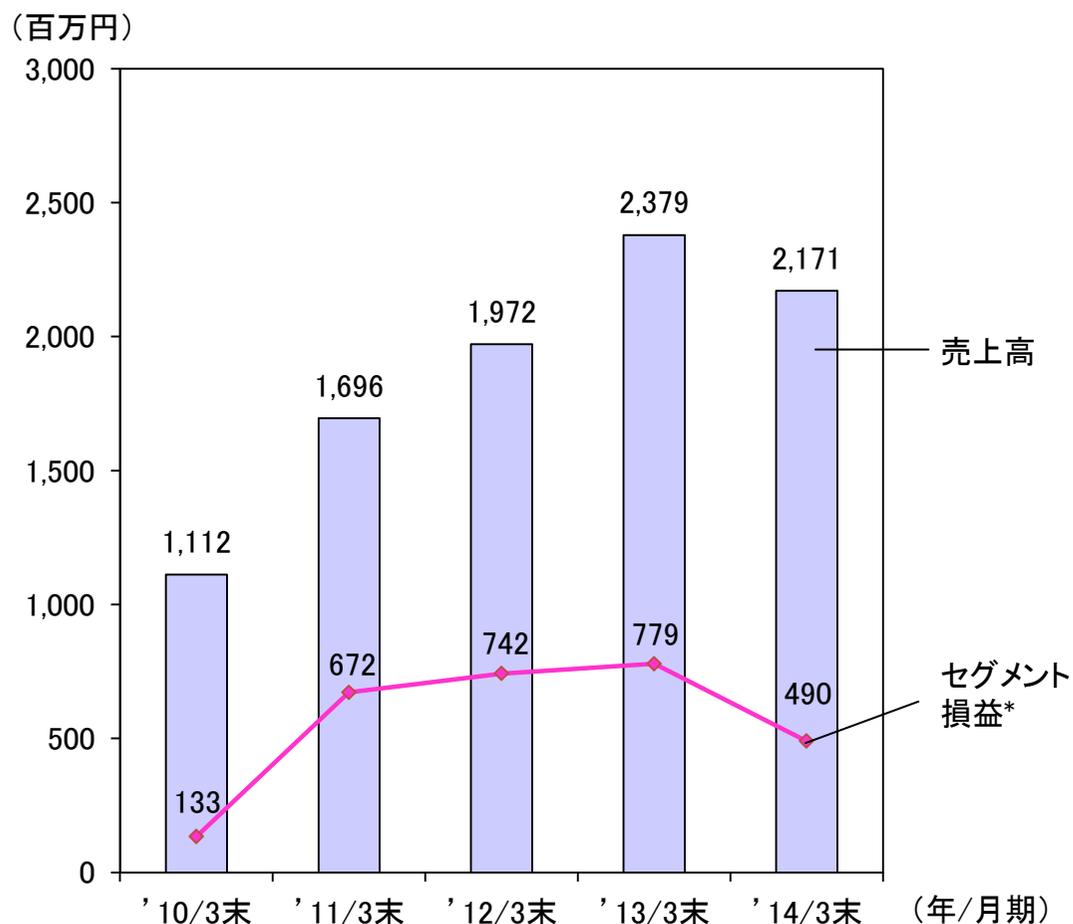
注: 各内訳人数は勤務地ベース

決算概況

各事業の状況

(参考)会社概要

## 業績推移



## 取組状況

対前期で売上高が▲8.7%

- 事業投資先の増強や、先行投資仕込み・開発に、ビジネスプロデューサー要員を投入した影響が出た
- 海外現地法人における受注増加や、FAサービスにおけるクロスボーダーM&A案件のクロージング等、新しい取り組みの成果が出始めた

短期の変動はあるが、中長期的には引き続き15%の持続的成長を見込む

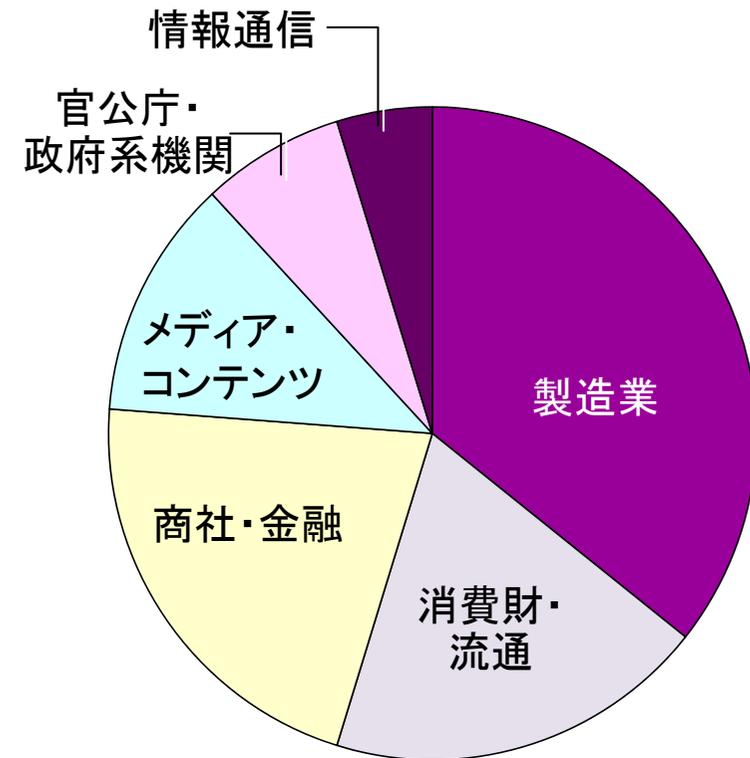
\* 12年3月期に経営管理手法の見直しを行い、セグメント損益の算出方法を変更  
#246187

## コンサルティング事業 顧客分布

顧客の規模

経常利益	業界*順位(企業数**)			
	1位	2位	3位	4位 以下
5,000億円以上	3			
1,000～5,000億円	3	1	1	3
500～1,000億円	1	1		
100～500億円	4	3	2	6
100億円未満		1	1	3
合計	11	6	4	13
売上高構成比	55.8%	19.4%	1.1%	15.8%

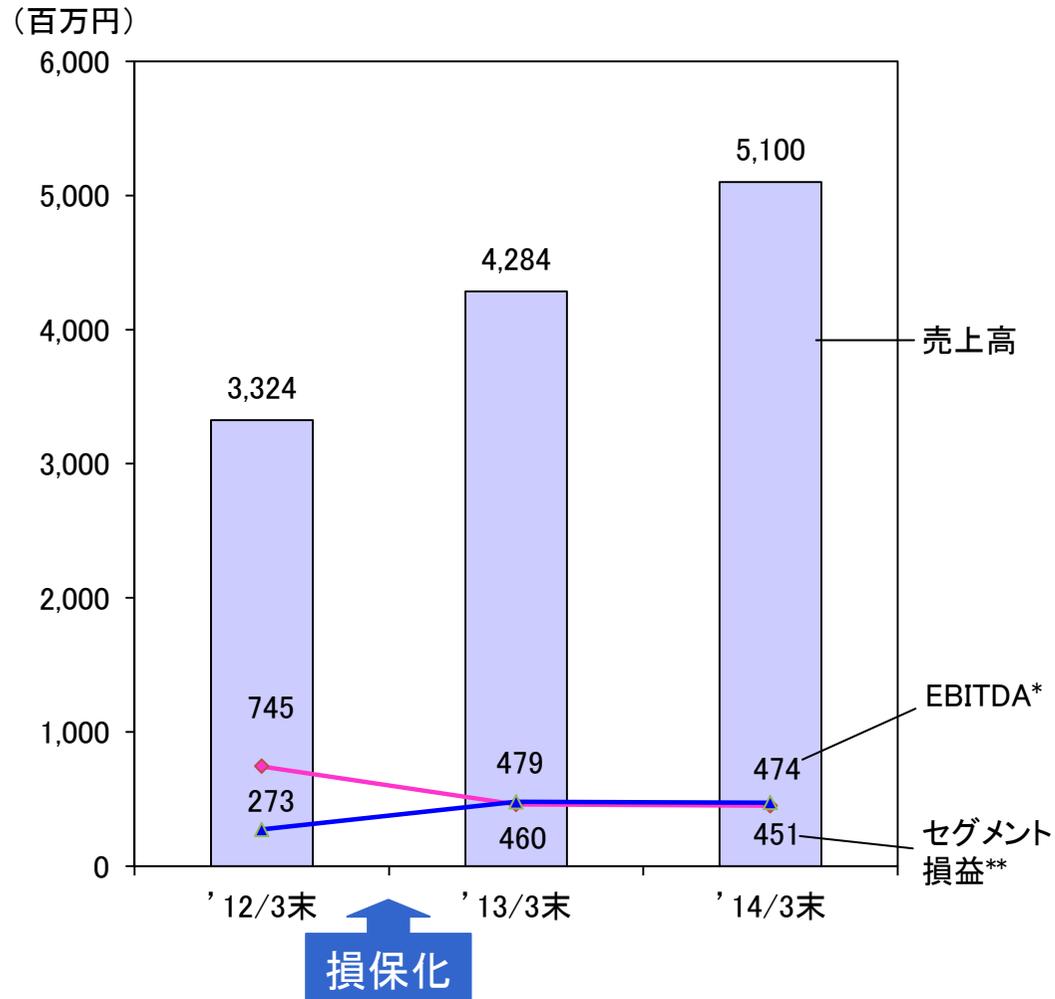
顧客の業種



\* (株)ユーザベース「SPEEDA」の業界小分類に基づき、顧客業界を分類  
 \*\* FA事業、教育事業、海外事業の顧客企業を含む(但し、非営利団体、ベンチャー、ブティック系ファームを除く)

# 保険事業(アイペット)

## 業績推移\*



## 取組状況

### 業績は堅調に推移

- 新規獲得、継続率ともに堅調

### 引き続き営業面を強化

- 社員教育を強化し、個々人のレベルアップを図る(生産性の向上)

### 「守り」も整備

- コンプライアンス面を強化(人員強化、社員教育の徹底)
- 査定(引受、支払、等)を適正化(獣医活用、等)

\* 金利、税法、及び保険業法特有の会計処理の影響を取り除いた実質利益

\*\* セグメント損益の前々期減少は、損保化に伴う保険業法113条の適用範囲変更(費用計上額の繰延範囲減少)に伴う会計的影響による

## アイペット単体P/L

(単位:百万円)	2013年3月期	2014年3月期	増減率
<b>売上高</b>	4,284	5,100	19.0%
支払保険金	1,360	1,601	17.7%
支払備金繰入額	40	77	88.5%
普通責任準備金繰入額	334	263	-21.4%
異常危険準備金繰入額	138	163	18.1%
<b>売上原価</b>	1,874	2,105	12.3%
<b>売上総利益</b>	2,410	2,995	24.3%
<b>販売費及び一般管理費(①除く)</b>	2,128	2,625	23.3%
<b>113条影響除外営業利益</b>	281	370	31.7%
保険業法113条繰延	▲ 516	▲ 538	-
保険業法113条繰延資産償却	407	467	14.7%
<b>保険業法特有償却①</b>	▲ 109	▲ 71	-
<b>単体営業利益</b>	390	441	13.1%
正味損害率	34.3%	34.1%	
正味事業費比率	46.8%	48.1%	

注: 金額の表示単位未満は切り捨て

## 2013年3月期/2014年3月期

(日本基準 vs. IFRSベース)

(単位:百万円)	日本基準			IFRSベース			備考
	2013/3期	2014/3期	差額	2013/3期	2014/3期	差額	
<b>売上高</b>	4,284	5,100	815	4,284	5,100	815	
支払保険金	1,360	1,601	240	1,360	1,601	240	
支払備金繰入額	40	77	36	40	77	36	
普通責任準備金繰入額	334	263	▲ 71	149	128	▲ 20	未経過保険料方式に修正 * 計上なし
異常危険準備金繰入額	138	163	25	-	-	-	
<b>売上原価</b>	1,874	2,105	230	1,550	1,807	256	
<b>売上総利益</b>	2,410	2,995	585	2,734	3,293	559	
<b>販売費及び一般管理費(①除く)</b>	2,128	2,625	496	2,128	2,625	496	
<b>113条影響除外営業利益</b>	281	370	89	605	668	63	
保険業法113条繰延	▲ 516	▲ 538	▲ 21	-	-	-	計上なし 計上なし
保険業法113条繰延資産償却	407	467	59	-	-	-	
<b>保険業法特有償却①</b>	▲ 109	▲ 71	37	-	-	-	
<b>単体営業利益</b>	390	441	51	605	668	63	

\* IFRSにおける責任準備金は「保険リスクを考慮し、十分に負債を積む事」としか定義されておらず、ここでは未経過保険料方式を準用  
注: 金額の表示単位未満は切り捨て

## アイペット単体B/S

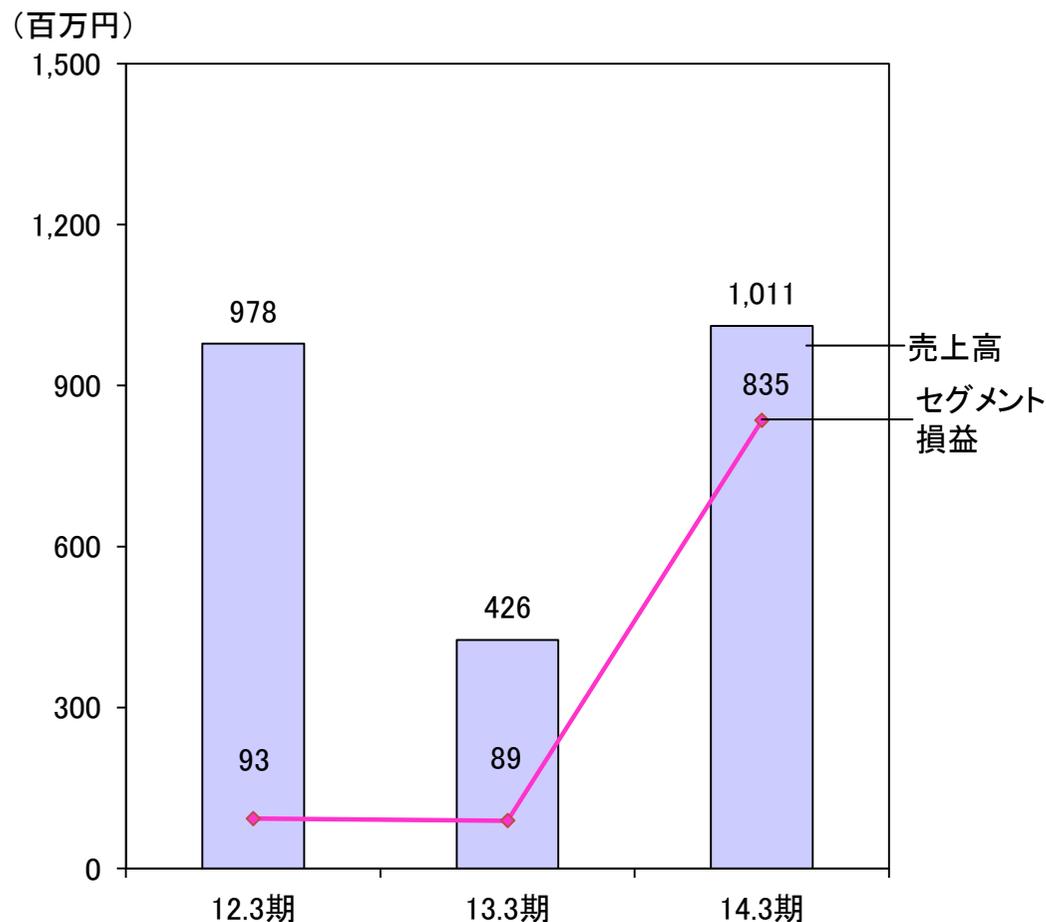
(単位:百万円)	2013年3月期	2014年3月期	増減率
現預金	2,071	2,997	44.7%
未収保険料	225	271	20.1%
保険業法113条繰延資産	1,889	1,960	3.8%
その他資産	970	1,040	7.2%
<b>資産合計</b>	<b>5,157</b>	<b>6,269</b>	<b>21.6%</b>
支払備金	191	268	40.2%
責任準備金	1,297	1,560	20.3%
異常危険準備金	405	569	40.3%
<b>保険契約準備金</b>	<b>1,895</b>	<b>2,399</b>	<b>26.6%</b>
その他負債	287	551	91.6%
<b>負債合計</b>	<b>2,183</b>	<b>2,950</b>	<b>35.2%</b>
資本金	3,064	3,064	-
資本剰余金	2,777	2,777	-
利益剰余金	▲ 2,868	▲ 2,523	-
<b>純資産合計</b>	<b>2,973</b>	<b>3,318</b>	<b>11.6%</b>
<b>負債および純資産合計</b>	<b>5,157</b>	<b>6,269</b>	<b>21.6%</b>
ソルベンシーマージン比率	258.3%	276.4%	

注: 金額の表示単位未満は切り捨て



# 営業投資事業セグメント

## 業績推移



## 取組状況

主要ポートフォリオ(百万円)*	14社
● IT・メディア	1,119(7社)
● サービス	238(3社)
● 環境・エネルギー	91(3社)
● その他	172(1社)

投資	6社
● 新規 2社、追加1社、S/O行使 3社	

IPO	4社
-----	----

含み益(2014年3月末時点)**	
● 5,876百万円	

\* 簿価200万円以上の未上場投資先のみ  
 \*\* 潜在株式を含めた、上場済投資先分

## 2014年3月期 IPO銘柄一覧



社名	(株)フォトクリエイト	(株)サンワカンパニー	アライドアーキテクト(株)	(株)ディー・エル・イー
事業	写真ネット販売	建材販売	ソーシャルメディア マーケティング	キャラクターの新規開発 マーケティング・サービス
IPO時期	7/10	9/13	11/29	3/26

## (参考)直近業績

● 売上	28.3 億円	53.2 億円	17.0 億円	9.4 億円
● 経常	1.8 億円	4.3 億円	3.0 億円	0.7 億円
● 当期	1.0 億円	2.2 億円	1.9 億円	0.7 億円
● 純資産	3.8 億円	11.7 億円	13.7 億円	1.0 億円

注: 2014/3/31時点(含、潜在分)

## 営業投資

## 事業投資

## 取組形態

## ハンズオン・ベンチャーキャピタル型

- ビジネスモデル発掘
- 経営チーム組成
- 投資(持分20%以上)

## グループ事業として経営

- ゼロから立ち上げ
- 既存企業とのJV
- 既存事業へのマジョリティ投資

## 収益

株式売却益(キャピタルゲイン)

連結利益

## 対象事業

## 国内・海外のベンチャー

- デジタルメディア
- IT 等

⋮

## 損害保険(アイペット)

リバーササプライチェーン(リバリュウ)

TGC(日本知財ファンド)

映像コンテンツマネジメント(フェノロッサ)

⋮

## 新規投資先



社名

(株)オフィスクレッシェンド

ブレイカー(株)

設立

1987年6月

2013年8月

事業概要

ドラマ・映画制作

- 堤 幸彦、大根 仁、他著名監督所属
- 主要作品
  - TRICK、SPEC、20世紀少年、モテキ、金田一少年の事件簿

映像配信等のマルチプラットフォーム

- 音楽・映像コンテンツの企画・制作・配信
- クリエイターの育成支援 等

代表者

長坂信人(代表取締役社長)

スワーツ・アレンクラーク(代表取締役社長)

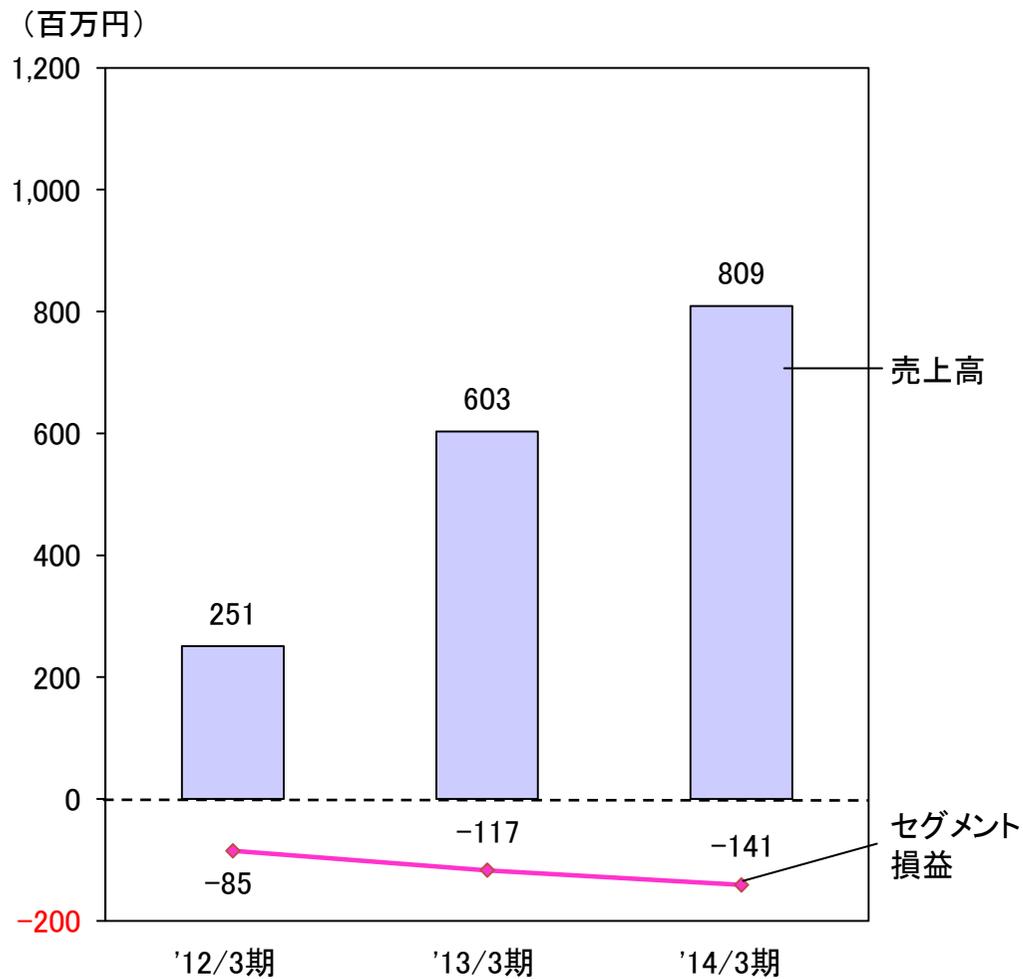
出資比率

7.7%

20.0%

## その他セグメント

### 業績推移



### 取組状況

株式会社リバリュース（リバースサプライチェーン事業、持分100%）

- 通販・EC等からの仕入れが増加し、売上高は対前期54.4%増の7.4億円。体制の大幅見直しを行った影響が下期に出た
- 人員の大幅増強、物流・販売両面でのシステム投資により、成長基盤を構築中
- 新年度第一四半期には、大手ECとの提携販売サービスを開始予定

上記以外の事業投資

- 日本知財ファンド（TGC商標権、持分60%）
- 株式会社フェノロッサ（映像コンテンツマネジメント、持分20%）へ新規出資
- 東南アジアにおけるwebマーケティング事業の立ち上げ

# リバースサプライチェーン事業: 進化の方向性

市場	ポイント			例
	1. 取引の透明性	2. コンプライアンス	3. 処理スピード	
返品/ 余剰在庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 明確な価格決定ロジック (オークション)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 法令順守</li> </ul>		LSI
チケットの 二次流通	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 明確な価格決定ロジック (固定価格)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 法令順守</li> <li>● 本物保証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● システムによるプライス・チャンネルマッチ</li> </ul>	Stubhub
証券の 二次流通	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 明確な価格決定ロジック (オークション)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 法令順守</li> <li>● 違法取引の排除</li> </ul>		東証



## 2014年3月期 期末配当金

	2013年3月期	2014年3月期
① 連結当期純利益	671,552,304円	854,273,582円
② 1株当たり当期純利益	7,001円97銭	8,812円76銭
③ 1株当たり配当金額	2,100円	2,600円
④ 配当性向	30.12%	29.50%

## P/L

コンサルティング

- 成長率15%程度

ベンチャー投資育成

- 保険事業セグメント
  - 成長率 20%程度
- 営業投資事業セグメント
  - 含み益の実現
  - IPOは前期より少なめ
  - アジア産業ファンドは投資フェーズから回収フェーズへ
- その他セグメント
  - リバースサプライチェーン事業：組織・システム等、成長基盤構築（黒字化は来期以降）
  - その他事業の仕込み

## B/S

ネット・キャッシュ・ポジションはプラス維持

- 有利子負債はなし
- 資本調達の手配なし

ベンチャー投資の加速

- 投資パイプラインの拡大



上期決算概況

各事業の状況

(参考)会社概要



# 株式会社ドリームインキュベータ 概要

## 会社概要

事業内容: コンサルティング  
ベンチャー投資育成

設立: 2000年6月(活動開始)  
2002年5月 東証マザーズ上場  
2005年9月 東証一部昇格

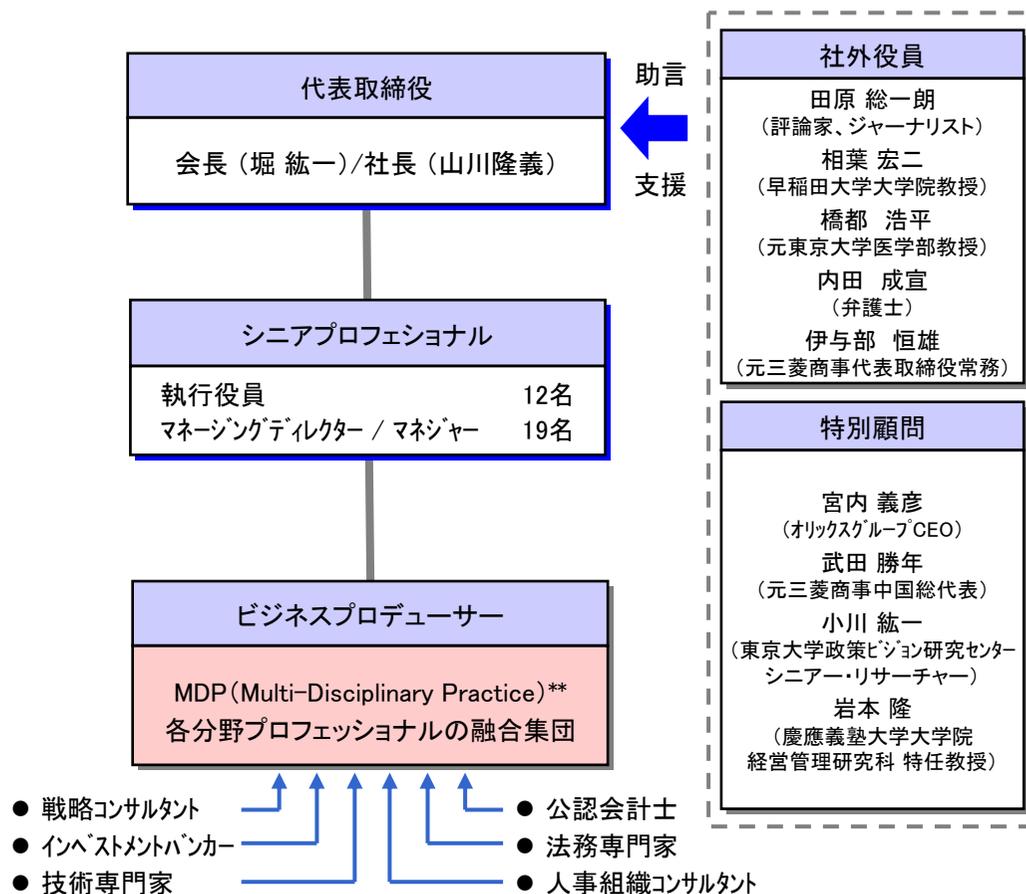
代表: 代表取締役会長 堀 紘一  
代表取締役社長 山川 隆義

人員: 304名\*(連結役員数)

連結純資産: 143億円

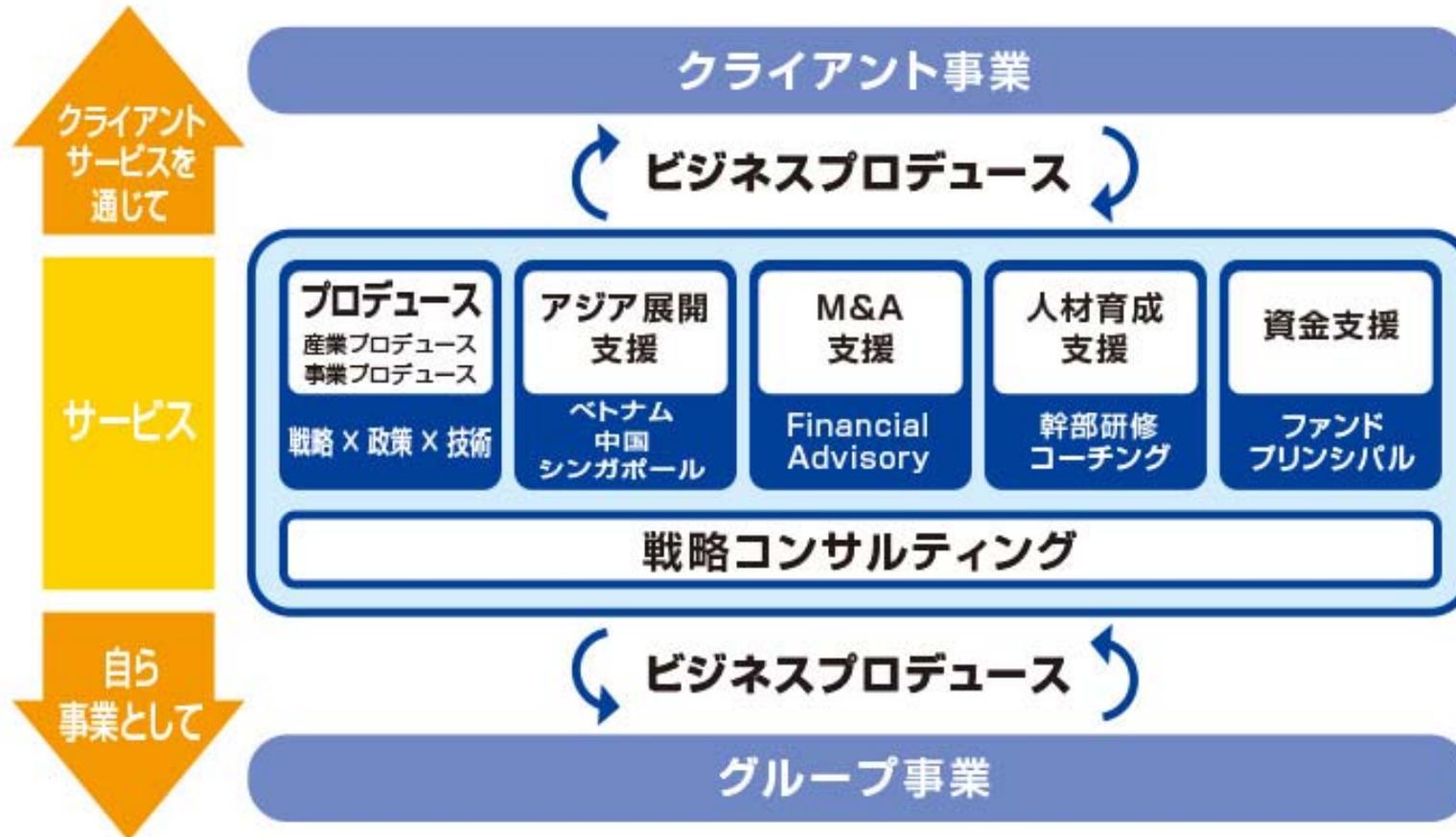
海外拠点: ベトナム(ホーチミン)  
中国(上海)  
シンガポール

## 組織体制



\* 2014年3月末現在  
\*\* 各分野プロフェッショナルの融合集団

DIとは: “The Business Producing Company”



## 事業構造と報告セグメント

コンサルティング



ベンチャー投資育成

- 戦略コンサルティング
- 事業・産業プロデュース
- アジア展開支援
- M&Aアドバイザー
- リーダー人材育成

コンサルティング事業  
セグメント

事業投資

営業投資



- 直接投資
- ファンド運営

保険事業  
セグメント

その他  
セグメント

営業投資事業  
セグメント

## グループ会社 概要



会社名： 株式会社リバリュー

主な事業： 返品商品・余剰在庫の流動化サービス  
返品物流センター業務委託

設立： 2010年7月

代表者： 代表取締役会長 山川 隆義  
代表取締役社長 向笠 元

人員： 37名\*

資本金： 4.7億円

出資比率： 100%

拠点： 本社) 東京都千代田区  
営業所) 東京都板橋区  
物流センター) 埼玉県入間郡  
テクニカルセンター) 埼玉県飯能市

会社名： アイペット 損害保険株式会社

主な事業： ペット医療向け保険事業  
(業界第2位)

設立： 2004年5月

代表者： 代表取締役 安田 正  
(DIから取締役 2名派遣)

人員： 153名\*

資本金： 30.6億円

出資比率： 95.5%(議決権ベース)

拠点： 本社) 東京都港区  
営業所) 東京、名古屋、大阪、  
札幌、福岡、青森

\* 2014年3月末現在

## グループ会社 概要



---

会社名： 日本知財ファンド1号  
投資事業有限責任組合

主な事業： 東京ガールズコレクション等  
知的財産権等への投資業

組 成： 2012年 2月

出資金： 5.0億円

出資比率： 60%



---

会社名： 株式会社フェノロッサ

主な事業： コンテンツマネジメント  
広告企画・制作・代理店業  
ビジネスコンサルティング 等

設 立： 2013年 7月

代表者： 代表取締役社長 西 茂弘

資本金： 1,000万円

出資比率： 20%

## 海外現地法人 概要

ベトナムオフィス  
(Dream Incubator Vietnam Joint  
Stock Company)

中国オフィス  
(得爰(上海)企业管理咨询有限公司)

シンガポールオフィス  
(Dream Incubator Singapore  
Pte. Ltd.)

設立/所在	2007年11月/ホーチミン市	2010年12月/上海市	2011年8月/シンガポール
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ベトナム現地企業に対する投資/インキュベーション</li> <li>● 日系企業の進出コンサルティング及び実行支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中国に対する日系企業の進出戦略コンサルティング及び実行支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ASEAN、インド、オセアニアに対する日系企業の進出戦略コンサルティング及び実行支援</li> </ul>
現地人員	日本人 3名 - 細野 恭平 (執行役員) - 加藤 秀行 (マネジャー) - 田代 雅明 (マネジャー) 現地スタッフ 14名	日本人 2名 - 石川 雅仁 (執行役員 兼 DI中国 董事 兼 総経理) - 板谷 俊輔 (高級創業経理) 現地スタッフ 8名	日本人 1名 - 松田 励 (DIシンガポール社長) 現地スタッフ 3名
主な実績	DIアジア産業ファンド(DIAIF)の運用 - 2010年6月ローンチ、50億円 <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>インタム企業A社</u>: 東南アジアにおける新規事業 開発計画策定支援</li> <li>● <u>大手商社</u>: アジア拠点戦略策定</li> <li>● <u>政府系機関</u>: 現地アパレル産業の分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>大手商社</u>: 環境分野に関する事業戦略及び実行支援</li> <li>● <u>大手電機</u>: インフラ分野に関する技術導入戦略及び実行支援</li> <li>● <u>インタム企業A社</u>: 中国戦略、生産戦略、新規ビジネス機会発掘</li> <li>● <u>インタム企業B社</u>: 業界構造分析、現地買収企業に対するPMI支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>金融機関</u>: 環境分野に関する事業戦略及び実行支援</li> <li>● <u>PEファンド</u>: 店舗事業者のビジネスデューデリジェンス</li> </ul>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ベトナムで唯一の日系戦略コンサルティング</li> <li>● ベトナム企業(投資先)とのネットワークも豊富 - 消費財、食品、医薬品などのセクター中心</li> <li>● 日系企業と現地企業とのアライアンスも支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本/中国の政策連携が可能</li> <li>● 中国国営企業、省庁、ベンチャーキャピタルとの連携 - 通用技術集団、レジェンドキャピタル (Legend Group) 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● シンガポールを基点として幅広い地域でのプロジェクト展開が可能</li> <li>● シンガポール、インドネシアにおける豊富な人的ネットワークを保有</li> <li>● 日系企業による現地企業買収も支援</li> </ul>